

## 第7章 事業計画の概要とフォローアップ

### 7.1 事業計画の概要

#### 7.1.1 実施スケジュール

28 ある実施方策のスケジュールを表 7.1 に示します。

表 7.1 (1) 実施方策のスケジュール (その 1)

安全：安全で/信頼されつづける水道

実施方策	具体的な取組	実施スケジュール		数値目標（R11）		
		短期 （R3～7）	中期 （R8～11）	指標名	単位	目標値
衛生管理体制の強化	水安全計画の策定	（目標を達成）		水質基準 不適合率	%	0.0
	水安全計画の運用	運用				
水質検査体制の充実	水質検査回数の見直し	適宜検討・実施		水質検査 箇所密度	箇所/ 100km <sup>2</sup>	95.2以上
貯水槽水道の設置者への働き かけ	貯水槽水道に対する調査の実 施	定期的に実施		—	—	—
	貯水槽水道設置者に対する指 導、助言及び勧告	適宜実施				
	貯水槽水道設置者に対する啓 発活動	実施				

強靱：いつでも/送りつづけられる水道

実施方策	具体的な取組	実施スケジュール		数値目標（R11）		
		短期 （R3～7）	中期 （R8～11）	指標名	単位	目標値
【重点施策】 水源計画の見直し	適正な揚水量の確保	実施		水源余裕率	%	13.1
	府営水の活用	実施				
【重点施策】 老朽設備や老朽管の更新	老朽設備の更新	実施		—	—	—
	管路腐食状況の調査	管路更新にあわせて実施				
	老朽管の更新	実施				
バックアップ機能の増強	他市町等との相互連絡管整備	検討の上、適宜実施		—	—	—
	北から南へのバックアップ検討	検討				
	自家発電設備の導入検討	導入（必要に応じて実施） ■ ■ ■ ■ ■				
【重点施策】 施設や管路の耐震化	施設耐震化の実施	詳細診断		浄水施設耐震率	%	100.0
		補強工事（随時）		ポンプ所耐震施設	%	100.0
				配水池耐震施設率	%	100.0
	管路耐震化の実施	（基幹管路を優先） 管路更新にあわせて布設替工事		管路の耐震化率	%	23.8
				基幹管路の耐震化	%	73.3

表 7.1 (2) 実施方策のスケジュール (その2)

実施方策	具体的な取組	実施スケジュール		数値目標（R11）		
		短期 （R3～7）	中期 （R8～11）	指標名	単位	目標値
応急給水体制の強化	緊急遮断弁の設置	（目標を達成）		緊急遮断弁 設置済み配 水池数	箇所	3
	資材備蓄の共同化	検討・実施		車載用の 給水タン ク保有度	m³/千人	0.370
	新たな応援協定の締結	推進		—	—	—
危機管理マニュアルの定期的 な見直し	防災訓練の実施	定期的に実施		—	—	—
	危機管理マニュアルの見直し	適宜見直し				
	市民合同の災害訓練の実施	定期的に実施				

持続：いつまでも/使い続けられる水道

実施方策	具体的な取組	実施スケジュール		数値目標（R11）		
		短期 （R3～7）	中期 （R8～11）	指標名	単位	目標値
【重点施策】 施設の統廃合	大住浄水場の廃止（水源地化）	水源地化工事		施設最大稼働率	%	88.4
未給水の解消	未給水世帯への水道布設	適宜実施		普及率	%	100
【重点施策】 効率的な資産管理	更新計画の策定・実施	計画に基づく更新実施		幹線管路の事故割合	件/100km	0.0
	ミクロマネジメントの実施	実施				
	更新周期の見直し	適宜見直し				
経費のさらなる節減	窓口業務等における民間委託の検討	検討・実施		経常収支比率	%	100.0以上
収入源の確保	遊休施設用地の有効活用	検討・実施		—	—	—
	井戸利用者の水道利用促進	検討・実施				
【重点施策】 料金体系等の適切な見直し	料金体系の見直し（改定）	検討・見直し		料金回収率	%	100.0以上
	基金運用ルールの見直し	見直し				
【重点施策】 柔軟な組織機構への改革	修繕部門の強化	検討・強化		—	—	—
	事務分担の見直し	適宜見直し				
事業評価の実施	中期経営計画の策定	（目標を達成）		—	—	—
	経営戦略の見直し	進捗評価・見直し				
	業務指標の算出・評価	算出・評価				
料金の公平な徴収	口座振替の推進	検討・推進		料金収納率	%	98.3
	滞納整理の強化	検討・強化				
適切な情報の公開	ホームページコンテンツの充実	検討・実施		—	—	—
	新たなPR方法の検討	検討（適宜実施）				
窓口サービス等顧客サービスの向上	インターネットを用いた各種サービスの実施	検討・実施		—	—	—
	給水申請書類等の電子化の検討	（必要に応じて実施）				
	独居老人等の安否確認	検討・実施				
より公平な入札制度への改革	電子競争入札システムの導入	運用		—	—	—
個人情報の保護対策	ソフト面の情報セキュリティ対策	実施		—	—	—
	ハード面の情報セキュリティ対策	実施				

表 7.1 (3) 実施方策のスケジュール (その 3)

持続：いつまでも/使いつづけられる水道

実施方策	具体的な取組	実施スケジュール		数値目標（R11）		
		短期 （R3～7）	中期 （R8～11）	指標名	単位	目標値
【重点施策】 人材育成・職員の意識改革	外部研修会への参加	実施		職員資格 取得度	件/人	2.0
	ナレッジマネジメントの実践	検討・実施				
	広域連携での人材育成	実施		外部研修 時間	時間	18.3
	人事評価制度の導入	実施				
【重点施策】 技術者の確保	再任用制度の活用	検討・実施		技術職員 率	%	62.1
	技術系職員の中途採用	継続して実施				
	広域連携・官民連携の推進	継続して検討				
環境負荷の低減	事務所活動での電力使用量削減	継続して実施		—	—	—
	紙の使用量削減	継続して実施				
省エネルギー対策の推進	運転方法等の改善	検討・実施		配水量1m <sup>3</sup> 当たりの 電力消費 量	kWh/m <sup>3</sup>	0.792
	高効率機器の導入	更新時に導入を検討				
	再生可能エネルギーの導入検討	継続して調査・検討 （可能性あれば実施）				
資源のリサイクル	建設副産物のリサイクル推進	継続して実施		建設副産 物のリサ イクル率	%	90.0
国際貢献策の検討	国際貢献策の検討	検討（適宜実施）		—	—	—

## 7.1.2 概算事業費

実施方策を実現するためには、今後 9 年間で総額約 71 億円の概算事業費が必要となります (表 7.2 参照)。

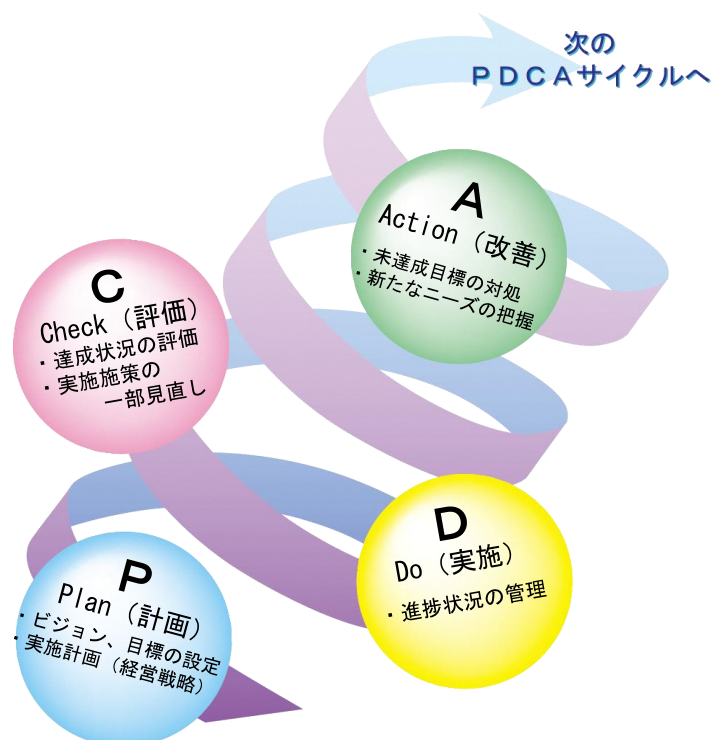
表 7.2 京田辺市水道ビジョンの概算事業費 (経営戦略より)

事業名 (仮称)	概算事業費 (百万円)			備考
	短期 (R3~7)	中期 (R8~11)	合計	
拡張事業	1,241	324	1,565	
大住浄水場水源地化事業	341	0	341	
老朽施設更新事業	1,537	726	2,263	
施設耐震化事業	657	77	734	
応急給水拠点事業				目標達成
老朽管更新・耐震化事業	390	1,788	2,177	
その他	15	0	15	
合計	4,181	2,915	7,095	

## 7.2 ビジョンのフォローアップ

『京田辺市水道ビジョン』は、本市水道事業の将来像（あるべき姿）である『未来へうけつぐ故郷の水』<sup>ひるさと</sup>を実現するため、目標年度である令和 11 年度までの取組を定めたマスタープランです。今後は PDCA サイクルで実施方策の進捗管理、事後評価、改善点の検討を行い、次期ビジョンに改善点を反映させていきます。

次期ビジョンの改訂までの期間、5 年ごとの『経営戦略』の改訂時には、それまでの進捗状況や利用者ニーズ（市民アンケート等の実施）の把握に努め、ビジョンの内容も適宜見直しを行います。



Plan (計画の策定)	ビジョン（目標年度までの中長期的な計画）を一部改訂し、ビジョンに沿った実施計画（経営戦略等）を立案します。
Do (事業の推進)	業務指標等を活用して、各実施方策の進捗状況を管理します。
Check (目標達成状況の確認)	5 年ごとの経営戦略改訂時に目標への到達見込みを確認し、必要に応じて実施方策等の一部見直しを行います。そして、目標年度（令和 11 年度）を目処に目標の達成状況を評価します（市民アンケートを実施し、顧客満足度の把握に努めます）。
Act (改善の検討)	さらに次の 15 年間を見据えて、未達成目標や新たなニーズへの対応を検討し、次期ビジョンの策定を行います。